

☆必要なかった大飯原発再稼働

豊かさと平和的生存権は原発なしでこそ獲得される

原発稼働が無ければ国民生活は守れないか

- ◆野田総理は、関西まで出かけてゆき「大飯原発を稼働しなければ国民の生活を守ることはできない」と言つて再稼働を決めました。
- ◆しかしこの夏、原発を動かさなくても電気は十分足りたのです。関西電力は大飯原発再稼働後、火力発電の一部を止め他社からの電力融通も断りました。
- ◆原発再稼働はエネルギー問題ではなかった
- ◆野田総理は「大飯原発を動かさなければ関西電力を守ることができない」という財界の主張を代弁していたに過ぎません
- ◆結局、原発稼働はエネルギー問題ではなく電力会社の経営問題だったので。原発再稼働によって見た目の電気コストを下げ、利益を生み出そうとしているのです。

原発稼働で危険な核廃棄物は増え続ける

- ◆いま、青森県六ヶ所村と茨城県東海村には1CCあたり百億ベクレル（十七秒で人間即死）の放射能を出す高放射性廃液を六百三十三トン貯蔵しています。
（貯蔵量は日本原子力研究開発機構の資料より）
- ◆これが、もし地震で漏れ出すと約六億三千万人の潜在致死量の放射能が放出されるのです。
- ◆しかも、この廃棄物処理技術がうまくいかず現在処理がストップしています。原発を動かし続けるということはこの危険な廃棄物を増やし続けることなのです。

豊かさと平和的生存権を見直そう

- ◆私達は、豊かな生活Ⅱエネルギーが沢山使える生活Ⅱ電気がいっぱいある生活Ⅱ原発がある生活、という方程式の中で生きてきました。しかし、それは危険と隣り合わせの生活です。これが豊かな生活と言えるでしょうか？
- ◆この夏、私達は節電生活で電気不足を乗り切りました。右の方程式の中ではなくとも生きる事が出来ました。これが本当の豊かさなのではないでしょうか。
- ◆真の豊かさと憲法前文にある「平和的生存権」は原発なしでも、いや原発なしでこそ得られるということを、学んだのです。